

熊本市では、平成20年6月に今後10年間におけるまちづくりの基本指針である「熊本市基本構想」を定め、その中で、めざすまちの姿を『湧々都市くまもと ～ 九州の真ん中！ 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち ～』と定めています。

同様に、城南町においても、平成13年3月に策定された第4期城南町振興計画において、町の将来像を「守り・育て・わがまち暮らし」として掲げ、「この将来像実現に向け、町民一人ひとりの自覚と行動で、次代を担う子供たち、自然や歴史、農業など、ふるさとの貴重な財産を大切に守り育て発展させていく」と定めています。

これらについては、基本的な考えや方向性を同じくしていることから、新市においても、両市町の基本構想を尊重した、まちづくりの基本理念やめざすまちの姿を定めます。

1 まちづくりの基本理念

今、わが国では、少子高齢化の進展とともに本格的な人口減少社会を迎え、これまでの社会経済のあり方の抜本的な見直しが迫られています。一方、地方には、地域の個性や特性を生かし、自らの判断と責任において、まちづくりを進めていくことが強く求められています。この大きな時代の転換期にあたって、私たちは、まちづくりの原点は「人」であることを再認識し、住民一人ひとりの主体的な参画と協働のもと、先人たちが築いた文化や財産を大切にはぐくんでいかなければなりません。

そして、すべての人の人権が等しく尊重され、安心して心豊かに暮らせる環境の中で、温かな出会いとふれあいがあり、個性豊かで多様な地域社会をつくるとともに、九州中央に位置する特性を生かして、活力と魅力にあふれた誇りが持てるまちを築き上げ、次の世代へと引き継いでいきます。

2 めざすまちの姿

本計画においては、『湧々都市くまもと』の実現に向け、新市の新しい魅力となる国指定史跡「塚原古墳群」に代表される歴史・文化や、豊かな土壌に支えられた農業などを有する本地域の特性を踏まえ、めざすまちの姿を次のとおり掲げます。

悠久の歴史がいぶき

豊穡の大地が生み出す豊かな恵みの中で

健やかでうるおいのある暮らしが営まれ

新市南部の拠点としての活気にあふれるまち

3 まちづくりの重点的取り組み

本地域のめざすまちの姿を実現するため、今後、本計画期間中に特に重点的に取り組む分野と重点施策を以下のとおり定めます。

(1) 健やかで、うるおいのある暮らしを楽しむまちづくり

少子高齢社会に対応し、本地域の豊かな自然、伝統ある歴史、心安らぐ田園風景などの特性を生かし、子どもから高齢者まで、だれもが安心して健やかでうるおいのある暮らしを楽しむことができるまちづくりを進めます。

そこで、消防出張所の整備や上下水道や生活道路の整備など、安全で快適な生活基盤の整備と環境づくりに取り組むとともに、公園やスポーツ施設の整備など住民の健康づくりや福祉サービスの充実に努めます。

また、次代を担う子どもたちがのびのびと遊び楽しく学ぶための学校教育環境の整備や、誰もが生涯を通じて学べる生涯学習施設の整備などを進めます。

○主な取り組み

①福祉サービスの充実や健康づくりの推進、適切な医療体制の確保

- 熊本市優待証（さくらカード）の発行など、高齢者や障がい者などに対する福祉の充実に努めます。
- B & G海洋センター施設の活用や総合スポーツセンター（体育館等）の整備などにより、住民のスポーツ活動や健康づくりの推進を図ります。
- 1,000を超える医療施設や、全国平均を上回る医療従事者数といった恵まれた医療資源を活用し、救急医療体制の確保に努めるなど、医療・福祉・保健の充実したまちづくりを進めます。



②安全で快適な生活環境の整備

- 消防出張所の整備
- 未普及地区における上下水道の整備など、良質な水の安定供給と環境に配慮した污水处理施設の整備に取り組みます。
- 町道舞原中央線などの幹線道路整備、集落内道路などの生活道路整備を進め、安全で快適な道づくりを行います。

③良好な住環境の創出

- 城南町中央土地区画整理事業の早期完成の促進などにより、良好な住環境を創出します。
- 地域コミュニティセンターの整備などコミュニティ活動の活性化を図り、自主自立の地域づくりを支援します。

④教育環境の充実

- 中学校プールの計画的な改修など、子どもたちが生き生きと楽しく学べる教育環境の充実を図ります。
- 児童館を併設した図書館を整備します。



(2) 新しい時代に対応した活気にあふれるまちづくり

若者が夢を描き、自分の能力を發揮しながらずっと住み続けたいと思えるよう、雇用の場が確保され、にぎわいと活力にあふれた将来性のあるまちを築きます。

このため、農村地域の活性化や担い手育成など、地域の基幹産業である農業の振興を図るとともに、成長力のある企業の誘致や中心市街地の活性化に取り組みます。

○主な取り組み

①農業の振興

- 物産館の整備などにより、安全でおいしい地元農産物の積極的な広報や販路拡大に努めるほか、生産、流通、加工、販売が一体となった農業経営の第6次産業化などに取り組みます。
- 排水機場の整備などにより、浸水地域の解消に努めます。



②企業誘致の推進

- 熊本市企業立地促進条例に基づく助成制度などの活用やトップセールスなどにより、城南工業団地などへの企業誘致を促進します。

③中心市街地の活性化

- 城南町中心市街地活性化基本計画に基づく各種施策・事業を展開し、中心市街地のにぎわい創出に努めます。

(3) 新市南部の拠点にふさわしい交流のまちづくり

地域を縦断している九州縦貫自動車道とのアクセスを強化するなど、広域交通網の整備に努めるとともに、国指定史跡塚原古墳群を中心とした歴史文化遺産の積極的な活用を図り、新市南部の拠点として、様々な人々が集い交流するまちづくりに取り組みます。

○主な取り組み

①広域道路網の整備

- 九州縦貫自動車道の高速バスストップ（城南バス停）を活用した、スマートインターチェンジ*の開設及びアクセス道路の整備に努めます。
- 県道小川嘉島線などの、幹線道路（国道・県道）整備を促進します。



②塚原古墳公園などを活用した新たな観光ルートの開発

- 国指定史跡塚原古墳群や歴史民俗資料館を有する塚原古墳公園や、同じく国指定史跡の御領貝塚、阿高・黒橋貝塚など悠久の歴史遺産と熊本城、木原不動尊などとの連携による新たな観光ルートの開発など、「火の君の里・城南」をPRし、さらなる知名度向上に努めます。



*スマートインターチェンジ…高速道路のサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるETC限定のインターチェンジ